

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」北長野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	パーティションを動かして配置を工夫することで、活動しやすい空間を作るよう努めています。	振り回りの場所や入れ替わりの時間に居ていただく場所が手狭なので、しっかり確保できるよう、配置変更も含めて検討していきます。
	②	職員の配置数は適切である	3	1	法令で必要とされている配置数に加え、指導員を1名以上配置しています。	他教室とも連携し、会議等で職員が不在の場合の対応策をとっていくことで、しっかりとした支援を行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	お子さんが楽しく活動に取り組むことができるような教材の準備を心がけています。機能訓練室は、お子さんが集中できるよう、飾りつけなどをせず、極力シンプルな内装としています。	教室入口の段差やトイレ内の手すりなど、車いす利用の方への対応は今後の課題です。環境の構造化は、これで充分ということはなく、今後も継続的に見直していかなければならないと考えています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	毎朝の掃除や適宜換気を行うことで、心地よく過ごしていただけるよう心掛けています。お子さんの身長に合わせて使い分けられるよう、本年度、新たに机と椅子を購入しました。	開校して1年ほどの教室ですが、教材等の物品が増えてきました。整理整頓に心がけ、心地よく過ごせる環境を維持できるよう努めています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	職員全員で相談し合う時間を設け、問題点を改め、業務が円滑に進むよう努めています。	今後も、他教室や保護者の方、来校者の方などのご意見を参考にしながら改善に努めていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	評価表に加え、日頃いただいているご意見を参考に、改善できることから取りかかるよう努めています。	いただいたご指摘を真摯に受け止めようとする姿勢を私たちが持っているかどうかを、常に振り返っていきたくと思っています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	事業所評価でいただいたご意見について全職員で検討し、改善の方向を話し合いました。その内容をまとめた評価表を、北長野校のHPに公開します。	保護者アンケートでいただいた否定的な評価については、絶えず改善のための努力をしていかなければならないと考えており、次回の評価では違った評価をいただけるよう努めます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	2019年2月に外部監査があり、指摘を受けた内容について改善を行いました。	今後の第三者評価の時期は未定です。実施された場合には、その結果に基づいて業務改善を行います。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	社内研修や社外研修、事例検討会など、積極的に参加しています。	資質向上のためには絶えず研修を受けていくことが必要です。今後も積極的に研修を受講していきます。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	個別支援計画の見直しの時期に合わせて保護者の方にご意見を伺い、職員全員で確認しています。	計画がお子さんや保護者の方のニーズに合ったわかりやすいものになっているか、内容が適切かなど、今後も見返していきます。

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3	統一したアセスメントツールがありますが、内容や使用方法などについて現在検討中です。	他のアセスメントシートも含め、利用しやすさや客観性など、検討を進めています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	ガイドラインを受けて、個別支援計画を職員全員で検討したうえで作成し、その計画をもとにしながら毎回の支援計画を立案する、という流れで行っています。	支援内容がガイドラインに沿った適切なものかについて、複数の目で日々振り返って検討していくようにしています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	指導員と児発管が意見を出し合いながら支援計画を立て、日々の支援を行っています。	お子さんの様子や保護者の方のご要望も踏まえ、継続的に見返しを行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	支援時のお子さんの様子について情報交換を行い、支援内容のアイデアを出し合いながらプログラムを立案しています。	園や学校、他の事業所（利用している場合）からの情報も全員で共有しながら支援を進めています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	それぞれのお子さんの気持ちや興味関心、季節感なども考えながら、いろいろな教材を取り入れるよう心掛けています。	楽しく取り組めることを大切にしながらも、そのお子さんにどのような力をつけるためにその活動を取り入れるのか、常に考えるようにしていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3	1	個別での活動が主ですが、力を伸ばすためには小集団を取り入れた方がよいというお子さんには、集団活動に関連した目標も取り入れています。	月曜開所日以外には、集団活動を行う機会が少ないことも事実です。フィードバックの時間の過ごし方も含め、今後の検討課題とします。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	朝礼を行い、その日の予定や支援内容、役割分担について確認をしています。	未確認の事項がないよう、複数の目で確かめるよう心掛けています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	支援コマ数が多い日はまとまった時間が取れないことが多いため、隙間時間も使いながら情報共有を行っています。	打ち合わせが支援終了後ではなく、翌日以降になることもあります。打ち合わせの時間ができるだけ長く取れるよう心掛けていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	支援後には必ず記録を行い、引継ぎ事項が次の指導員に伝わるようにしています。	様子の概略や引継ぎ事項がわかりやすい記録となるよう、記録の形式を改善してきました。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	個別支援計画の見直し時期だけでなく、毎回の振り返り時にも保護者の方から意見をいただくよう心掛けています。	保護者の方からお話を伺う時間をできるだけ多く確保することで、意見を伝えやすい雰囲気を作るよう心掛けていきます。
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	会議にはできるだけ参加し、相談員や他事業所と情報共有を行うとともに、会議で得た情報を職員全員で共有しています。	会議が支援時間と重なることが多いため、その子の状況を考えて最もふさわしいものが参加できないこともあります。その場合も、連絡を取り合って情報を伝えることができるよう努めています。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	関係諸機関との連携を密にとりながら進めています。	これからも積極的に連携を取るよう努めます。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	2020年1月15日現在、医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障害のあるお子さんのご利用はありません。	
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—	2020年1月15日現在、医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障害のあるお子さんのご利用はありません。	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	支援会議に加え、園訪問や参観の機会を通して、情報共有や相互理解を図っています。	園や特別支援学校との連絡が取りやすくなるよう、職員の方々とつながりを大切にしていきます。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	支援会議に加え、学校訪問や参観の機会を通して、情報共有や相互理解を図っています。	連絡が取りやすくなるよう、学校の先生方とのつながりを大切にしていきます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	(財)発達支援研究所や県内の専門機関の行う研修に参加したり助言を受けたりしています。	今後も諸機関が主催する研修会に積極的に参加し、助言をいただくようにしていきます。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	これまで、お子さんの在籍する園と当校職員との交流はあっても、障害のないお子さんと一緒に活動する機会はありません。	このような機会を作ることが可能かどうかも含め、今後の検討課題とします。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4	地区の協議会に参加したことはありますが、その他の会議への参加はまだありません。	このような機会がある場合は、積極的に参加する方向で検討します。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	フィードバックの時間にお子さんの様子を丁寧にお伝えし、共通理解を図るよう心掛けています。	支援時間中に支援担当でない職員が相談を受けるなど、ご希望に応じて共通理解の時間を更に多く確保するようにしていきます。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	3	保護者の方を支援するための助言を、私たちができる範囲で行っています。	体系的な支援プログラムを組んで行っているわけではありません。今後の検討課題です。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に内容を丁寧にお伝えするよう心掛けているとともに、事業所内にも掲示しています。	内容についてご質問やご指摘をいただいた場合には、丁寧に対応するよう心掛けます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	契約時やアセスメントの時に支援計画の内容についてお伝えし、同意をいただいています。保護者の方からいただいたご意見を反映させた計画になるよう努めています。	お子さんの困り感や保護者の方のご希望に沿った支援計画を作成するために、お子さんの様子を的確に捉え、保護者の方のお気持ちをしっかりと受け止めることができるよう努めます。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	支援後のフィードバック時に相談に応じたり、支援中に支援のない職員がお声がけしたりして、	相談に応じることに加え、教室内に書籍を置いて自由にご覧いただくことで、さまざまな悩みに対する対応策

				話しやすい雰囲気になるよう努めています。	を考える一助となればと思っています。今後も本を増やしていきます。	
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	保護者会はこれまで2回実施しました。保護者の方の良い交流の場になったと思っています。	次回は参加したいという声をいただいているので、回数を増やす方向で検討していきます。	
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	苦情受付体制について契約時にお伝えするとともに、お伝えいただいた苦情の内容については、問題点を全員で共有し、解決策を検討してきました。	不十分な対応が原因で保護者の方が不快な思いをされることのないよう、迅速で適切な対応をするよう心掛けていきます。	
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	定期的にブログを更新して教室の予定や様子をお伝えするとともに、行事予定は印刷物でもお渡しています。	今後も定期的にブログを更新し、教室の様子や予定について発信していきます。	
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	個人情報の扱いについて、契約時に丁寧にお伝えするよう心掛けています。個人情報ファイルは鍵付きキャビネットに保管、PCのパスワード設定など、取り扱いには留意しております。	情報の管理は、これで十分に安全ということはありません。今後も細心の注意を払い、紛失、破壊、改ざん、漏洩等がないようにしていきます。	
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	お子さんの状況に応じて、情報機器を活用したり、視覚支援などを行ったりしています。	どのような意思疎通方法や伝え方がよいか、お子さんの様子や保護者の方のご意見を参考にしながら、より良い方法を今後も探っていきます。	
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	月曜開所日のイベントにはどなたでも参加することが可能で、これまで何人かご参加いただいています。園や学校の先生方が来校されたことも何回かありますし、地域の方が玄関に顔を出していかれたこともあります。	地域住民の方を教室に招待することまではしていません。地域の皆様とのつながりができそうな機会があれば積極的に参加するなど、つながりを大切にしていきたいと思っています。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	マニュアルを作成し、緊急時を想定した訓練を職員で行っています。	昨年秋の水害により、緊急時の対応についての保護者の方の関心が高まっています。マニュアルが適切か、これからも見直していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	月1回実施している避難訓練の中で、消火器や火災報知器の使用法、避難経路、救出方法などについて確認しています。	非常持ち出し物や避難場所・経路の確認などを、これからも継続して行っています。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	保護者の方への聞き取りや支援会議での情報などから、お子さんの状況を捉えるよう努めています。	保護者の方との連絡を密にとること、お子さんの体調の変化について確認し、対応していきます。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—	飲食物の提供はしていません。留意事項のあるお子さんについては、職員で情報を共有しています。	

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	マニュアルと事例ファイルを作成し、これまで発生した事例についての情報を共有し、再発防止に努めています。	ヒヤリハットの発生時には、全員で状況確認と対応策の検討を行います。同様の事例が二度と起こらないよう、注意していきます。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	マニュアルを作成しています。全職員が研修に参加するようにしています。	虐待防止の意識を高めるためには、定期的な研修受講が必要です。常に研鑽を積んでいくようにしなければならぬと考えています。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	2	マニュアルを作成し、契約時に虐待防止についての説明をしています。身体拘束は行わないことを原則と考えています。	契約時における保護者の方に対する説明が不十分ではなかったか、と感じております。より詳しくお伝えするようにします。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校

保護者等数（児童数）：11 回収数：8 割合：73%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	3	0	0	・テンションが上がると、職員の机の後ろに行ってしまう。	パーティションやホワイトボード等の配置を工夫し、活動しやすいように工夫していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1	1	1	・体調不良等でも休みが取れそうにない。	他の教室とも連携し、お子さんや保護者の方にご心配やご迷惑をおかけすることのないよう対応していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	0	1	・慣れてきたので、環境や場所には問題がなさそう。	お子さんにとってもっと良い環境にならないか、構造化が充分になされているかなど、今後とも検討していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	0	・いつもきれいになっている。	毎日の清掃を丁寧に行うことに加え、温度調節や換気などに留意し、快適な室内環境を保てるよう努めます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	1	0	0	・作成前に必ず意見を聞いてくれるので助かる。	お子さんの困り感や保護者の方のニーズに合った計画になっているか、絶えず見直していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1	0	0	・計画は細かく適切にたてられていると思う。確認もしっかりとされる。	お子さんの困り感や保護者の方のニーズは、お子さんの成長に伴って変わっていくので、保護者の方からのご要望やお子さんの成長をしっかり捉え、支援計画に反映させるよう努めていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	0	・沿った支援で進められているが、本人の気分でできないときもある。	その日のお子さんの様子に合わせて計画を変更することもあります。その際、保護者の方に伝えていただいている、来校前の様子についての情報がとても役に立っています。ありがとうございます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	1	0	1	・楽しみながらできるプログラムが用意されており、本人から、「またやる。」等の声が自宅でも聞かれる。	お子さんの様子を思い浮かべながら教材を準備しておりますが、その日のお子さんの気持ちに合わないこともあります。柔軟に対応できるよう努めていきます。

保護者への説明等	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	2	6		今のところ、このような機会は設けておりません。交流の機会を作ることが可能かどうかも含めて、今後の検討課題とします。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	0	0	0	・毎回、運営等が変わったところがあればすぐ説明してもらっている。	契約時やフィードバックの時間に、丁寧にご説明するよう心掛けておりますが、説明のわかりにくいところもあろうかと思えます。改善に努めていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8	0	0	0		指導員は、支援計画を確認しながら支援をするよう心掛けております。支援内容の趣旨や目的についての質問など、ご遠慮なくお伝えください。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	0	1	3	・家でどうしたらよいかや、沢山褒めた方がよい等、アドバイスがとても参考になっている。	支援プログラムと呼べるほどのしっかりとした対応を行っているわけではありません。それぞれの方のご相談に応じて対応しています。今後の検討課題です。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	0	0	0	・終了後、担当の先生と毎回お話ができるのでわかりやすい。	共通理解ができているか、気がかりです。ただ、共通理解をしようという気持ちはしっかりと持っているつもりですし、これからも持ち続けていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1	0	1	・終了後、担当の先生と毎回お話ができるのでわかりやすい。	フィードバックの時だけでなく、支援中も支援のない職員が対応します。ご遠慮なく声をかけてください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	0	6		これまで保護者会を2回しか行っておらず、冬以降に利用を開始した方にとっては参加の機会がありませんでした。今後、機会を作っていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	1	0	2		対応が遅れたために適切な行動をとることができず、保護者の方にご迷惑をおかけしてしまったことがありました。今後の反省材料です。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	0	0	0		配慮が行き渡っているかどうか、今後も注視していきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	0	0	4		ブログや教室内の掲示物などを多くの方に見ていただけるよう、もっと呼びかけや配慮をすべきだったと反省しております。今後の課題です。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7	0	0	1	・写真など、とても気にしてもらっていると思う。	個人情報の取扱は、これで充分ということはないので、これからも留意していきます。

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	0	0	3	・避難場所等は教えてもらっているので、問題はなさそう。	各種マニュアルの準備はしてありますが、避難経路以外については保護者の方にお知らせしてきませんでした。教室の見える場所に掲示するなど、対策を検討します。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	3	・避難場所等は教えてもらっているので、問題はなさそう。	職員は毎月、非常時に対応するための訓練を行っています。しかし、お子さんを交えての訓練はこれまでは行っていません。必要性も含め、今後の検討課題とします。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1	0	0	・幼稚園などには「行かない」と言うことはあるが、きりはいつも楽しみにしている。 ・まだよくわからない。 ・遊んでもらう！と喜んでい。先生方にとてもよくしてもらっている。	楽しみにしてもらっているかどうかに加え、お子さんにとって安心して気持ちを伝えられる職員であるか、という視点も大切だと考えています。困ったことがあったときに頼れる大人の一人になることができるよう、今後も務めていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8	0	0	0	・病院の OT との引継ぎなどがなされ、ありがたい。	これからも満足していただけるような支援を行っていくよう努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。